

# こころん

令和4年11月8日  
文責 德川 知子

## あいさついっぱいの学校を目指して

学校では、毎月、生徒指導における目標を「生活のめあて」として掲げています。生徒指導というと、なんだか取り締まるようなイメージがあるかもしれません、そうではありません。

子供たちは、それぞれに、「よりよく生きたい。伸びたい。」という願いをもって過ごしています。そのよき心持ちを發揮する方向性として「生活のめあて」を掲げ、その姿を大いに認めることで、子供たちが自ら育っていくことを目指しています。

11月の生活のめあては「すてきなあいさつについて考えよう」です。

これまでにも、「あいさつ」は何度か「生活のめあて」として掲げられてきました。それでも、まだまだ、力を入れる必要があるのが実情です。

登校時に「おはようございます」と自分からあいさつのできる子供もいますが、声をかけられても、友達同士のおしゃべりに夢中になって、あいさつを返せなかったり、恥ずかしがって声を出せなかったりする様子も、見受けられます。

実際に地域の方から「あいさつをしたのに、あいさつの声が返ってこない。」というご指摘を受けたこともあります。

本当に残念なことです。(マスクをしていて、声が届かなかったことも考えられます。)

「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」「よろしくおねがいします。」等々、「あいさつ」には、いろいろな言葉があります。どれも短い言葉です。でも、その短い言葉が、仲良くなるきっかけになったり、自分の気持ちを伝えたりします。そして、何より、相手の存在を認めているというメッセージになるのです。

人と人をつなぐ大切な一言。そんな「あいさつ」を広げることを真剣に考えたい。学校では今、5・6年生が中心となって、朝の児童玄関で、「あいさつ運動」をしています。また、実行委員を組んで、各クラスにあいさつポイントを示したりがんばりカードを配布したり、放送などで呼びかけることを考えたりと、自分たちの力で「あいさついっぱいを目指す」ための活動をし始めています。大変誇るべき、価値ある行動です。そして、もちろん職員も、すてきなあいさつを広げることを一丸となって取り組んでいます。

生活のめあてとして掲げた「あいさつ」を広げて、人とのつながりをつくっていく子供たちを育していくためにも、ご家庭でも、家読を通して、「あいさつ」について考えていただけたら幸いです。

共に、「あいさついっぱい」の西与賀校区を目指していきましょう。

※ 裏面の 家読だよりをご覧ください。



登校してくる子に元気に声をかけてくれます。



【5年生のあいさつ運動】  
時期リーダーとしての心構えが育っています



【朝の児童玄関】  
出会った友達とは気軽にあいさつ。この声が広がるように働きかけます。

西与賀小学校 保護者様

## 「家読（うちどく）便り」No.3

西与賀小 図書室・道徳部コラボ企画

# お家de道徳

11月に入り、秋も深まってきました。

令和4年度も、第3回目の家読は、「お家 de 道徳」として、お子さんが授業で使っている道徳の教科書を、一緒に読んでいただきます。

表面の、道徳だより「こころん」でも紹介したように、今、西与賀小学校では、「あいさついっぱいの学校をめざして」5・6年生のリーダー力を生かしながら学校全体で真剣に取り組んでいます。

人と人のかかわりの基本ともなるあいさつについては、道徳の教科書でも、各学年で扱われています。

そこで、今回の、「家読む」では、下記のあいさつにかんけいする道徳の教科書のお話を、お家で子供さんと一緒に読んでいただくことにします。

お家の方の思いや子供さんの気持ちなどなど、あいさつにまつわる会話をすることで、「おうち de 道徳」の時間となればと思っています。



**家読期間** 11月9日（水）～11月18日（金）

**【読んでいただくお話】** 数字は、各学年の道徳の教科書に掲載されているページです。

1年生 p14 「あいさつ」 p76 「おうだんはどうで」

2年生 p71 「あいさつっていいな」 p85 「じぶんがし�んごうきに」

3年生 p13 「あいさつをすると」

4年生 p114 「ありがとうの言葉」

5年生 p10 「ありがとう上手に」

6年生 p10 「心を形に」

ご家庭で、「あいさつ」について  
話し合いましょう。

